

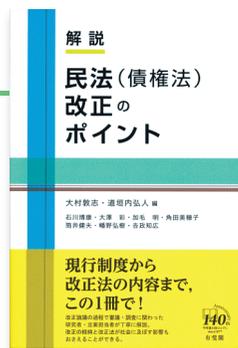
解説 民法(債権法)改正のポイント

大村敦志 = 道垣内弘人 編

石川博康 = 大澤 彩 = 加毛 明 = 角田美穂子 =

筒井健夫 = 幡野弘樹 = 吉政知広 著

2017年10月発売 / 552頁 / 3200円+税
四六判 / 並製



編集
担当者
から

「『債権法改正』という言葉はよく耳にするけど、実際何がどうなるのかよくわからない」本書はそんな方に最適な1冊です。現行制度がどうなっているか、改正にあたってどんな議論があり、その結果どう変わったのかを丁寧に解説していただきました(ゆえに500頁超……)。改正法の中身だけでなく、立案担当者による審議過程の解説や、編者による改正を俯瞰した解説など、盛りだくさんの内容となっています。

現行制度からの変更点がわかりやすい構成となっていますので、これまで現行法を勉強してきた方は、知識を再確認しつつ、作りあげてきた理解の枠組みのなかに無理なく改正の内容を組み込んでいただけるものと思います。実務に携わっている方には、本書を改正法に対応する際の指針にしていだけるのではないかと考えます。ぜひ書店さん等でお手に取ってみてください。(K)

Point!

P

各項目には「改正のポイント」が掲げられています。

